

評価シート 様式

取組名	「うどんの国から讃岐日和の国へ」～100万人のラブレター・プロジェクト～		
実施団体名	100万人のラブレタープロジェクト推進協議会	対象地域	香川県高松地域
(代表団体名)	高松ホテル旅館料理協同組合	推薦団体名	

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	「うどんの国から讃岐日和の国へ」～100万人のラブレター・プロジェクト～		
実施団体名	100万人のラブレタープロジェクト推進協議会	対象地域	香川県高松地域
(代表団体名)	高松ホテル旅館料理協同組合	推薦団体名	

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	県内に散在する誇れる自然、祭り、建物、農作物、食品、技能などに関する情報を広く県民から収集して発信する等の取組みにより県土丸ごと観光地化を目指そうとするものであり、特定の分野にとどまらない様々な分野・地域の活性化を図ろうとするものである。そのため、ジャンルを問わない県内の様々な取組との連携により広がりのある波及効果が期待できる。次々に県内の新しい魅力を発見し続けるための情報発信サポーター制度などの他地域のモデルとなるようなユニークな取組も見られる。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	県民を巻き込んだ県土全域を対象とする地域情報の収集・発信、観光コンテンツの発掘と体系化等の取組みは、県民参加型の全県観光地化という点で地域活性化に資するものであると評価できる。今後は以下に留意しつつ地方の元気再生事業として支援を行うことにより本格展開に向けた継続的な展開が期待できるものである。
	次年度以降については、情報発信事業は他地域のモデルとなるような県民参加型の採算性を備えた自立的事業として展開しつつ、まち歩きインストラクター、市民ガイド、情報発信ポーター等の育成等、担い手づくりの取組みに重点的に取り組むべきである。
	具体的には、取組1.については20年度の取組で得られたノウハウを活用し、実証実験を真に必要なものに限定するなど、効率的に実施すべきである。取組2.については、活動の継続的な担い手となる人材育成は本事業で最も重要な取組であり、22年度以降の自立的展開に向けて引き続き注力すべきである。取組3.については、情報プラットフォームは20年度に一定の成果を得ており、21年度は必要な課題に絞って効率的に実施すべきである。また、22年度以降も自立的・効果的に情報プラットフォームが提供されるよう、継続的な運営体制を21年度中に確立すべきである。取組4.については、販売事業は採算性を伴った自立的事業として展開すべきである。また、情報発信サポーター養成は、取組2.の地域ガイドを活用しつつ効率的に行うべきである。